

テーマ「性教育を通じて自己のライフサイクルを考える」
～ 自分のいのちの大切さを体感し、他者のいのちを守る看護師に～
カテゴリー：①教育課程（教科外活動）

1. 学校概要

学校名：福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院附属高等看護学院
所在地：福島県白河市豊地上弥次郎2番地1 課程名：3年課程
1学年定員数：30名（令和5年4月現在 90名在籍） 修業年限：3年



2. 経緯

現代の社会環境は目まぐるしく変化し、性に関する問題がより複雑・多様化している。とりわけ情報社会の発展は、若者の性意識や性行動に大きな影響を与えている。性に関する健康は、豊かな人生を送るためには欠かせないものであり、それにより性教育は生涯に渡ってなされるべきものである。専門学校や大学、短大は学生にとって社会に出る前の最後の教育機関となりうる可能性が高く、集団で受ける最後の性教育の機会となるかもしれないことを考えると、その担う役割は大きい。

加えて、当学院の教育理念は、設置主体であるJA福島厚生連の理念に基づき「いのちの大切さを基盤に、豊かな人間性と高い倫理観を培い、看護に関する専門的知識及び技術を身に付け、あらゆる健康レベルにある対象に応じた看護を実践し、地域・社会に貢献できる看護師を育成していく」ことである。家族形態や価値観の多様化から様々な社会背景をもって学生達は入学してくる。生育環境によっては、自己肯定感の低さから自己表現が苦手だったり、集団での生活に困難さを感じる学生がいることも事実である。そのため、性教育を通じて避妊や人工妊娠中絶等の実態を知ることのみならず、自分自身のいのちの大切さを体感し、その上で他者のいのちを守る看護師になって欲しいとの願いのもと平成30年度より教科外活動の課外授業として「性教育」を位置づけ実践している。

3. 内容・方法

1) 方法：教科外活動の課外授業として、年1回（夏季休業前7月）、学年ごとに講義・演習

2) 内容：年ごとにテーマを選定（下記、近年3年間のテーマと内容）

- ・令和3年度：「性のこと正しく知っていますか？～正しい知識がいのちを守る～」
性教育の目的/性の知識テスト /性感染症の実践 /今、大切にしなければならないことは
- ・令和4年度：「デートDV～豊かな人間関係を築くためのヒント～」
愛って何 /デートDVとは /いのちの大切さ
- ・令和5年度：「性教育ってなぜ必要？～これからの性教育を考える～」
性教育の必要性 /コンドームの正しい使い方 /明るい性教育

3) 学生の反応（アンケート結果より）及び今後の課題

「いのちの大切さについて理解できた。」「看護師になっても忘れないで仕事をしたい。」「性教育の大切さ、身体の大切さを改めて理解できた。」「子宮頸がんワクチンをしたいと思う。」等の感想があった。概ね性について学び、いのちの大切さを体感することに繋がっていた。

しかし、一方では感想の中で性についてネガティブな感情を持つ学生もいるため、各担当教員と連携を図り精神的支援に繋げていく。また、すべての人に関わる性を領域横断的に教授できるよう教育内容や方法を検討し、様々な場所でいのちを体感できるようにしたいと考える。

